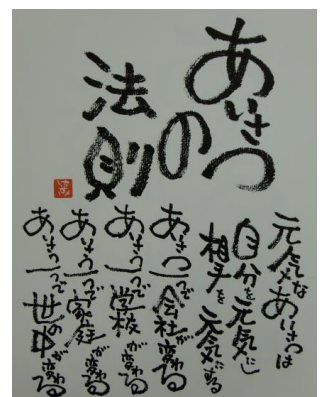


「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～

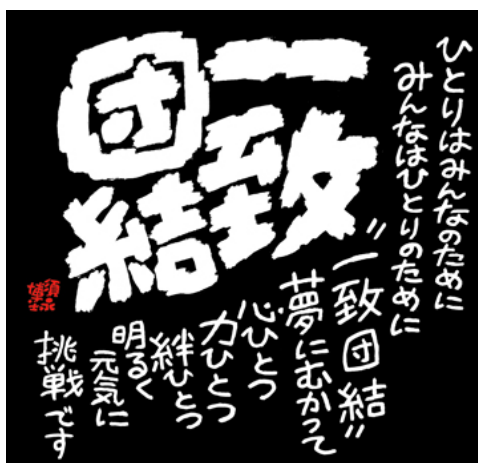


日本一のあいさつを目指して！～あいさつの意味！～

「なぜあいさつをするの?」、この質問に235人全員がはっきりと答えることができるようになることが、日本一の絆づくりには欠かせない。**あいさつ(挨拶)の「あい(挨)」には心を開くという意味、「さつ(拶)」にはその心に近づくという意味がある。**つまり、あいさつとは、**自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく積極的な行為**であるわけだ。そしてもう一つ、あいさつは、**相手の存在を認める**ことでもある。存在を認め、相手がそこに「居る」ことを認めたからこそ、「敵ではない」ことを知らせ、「あなたの存在を見つけたよ。よろしくお願いします。」という思いを込めて、人間関係をスタートさせるためのコミュニケーションの第一歩を踏み出すわけだ。だから、自分ではあいさつをしたつもりでも、小さい声で「どうも」とか「おはようございます」というだけでは、相手にきちんと伝わるあいさつとはいえないんだな。**相手の目を見て、明るく、元気よく、心を込めて**するのがあいさつの基本だ。また、あいさつをするタイミングもポイントで、**相手より先に自分からあいさつすることが重要。**つまり、一中でこだわろうとしている「**先手あいさつ**」だな。そして、どこの国でもあいさつは、**相手との関係をより良くする**という目的を持っているようで、拳と拳をグーにして、「ちょこん」と合わせるグータッチも、もともとジャマイカのあいさつらしく、拳を合わせることで**友情と団結を表現**するとのこと。また、例えば「こんにちは」は「今日(こんにち)は、良い日になりそうですね!」という意味で、**相手がうまくいくことを願う、それを表現する言葉が語源**らしい。こう考えると、やはり一中はあいさつを、**仲間の存在を認め、自分から心を開くことで、仲間の心の扉を開かせ、仲間と心近づけていく、仲間を思う絆づくりの最も重要な行為**と位置づけたいよな。だからこそ、一中は235人全員があいさつの意味をしっかりとって、どこの学校もまねできない「**日本一のあいさつ**」を目指していこう。



一致団結！～夢に向かって！～



学級開きに基づき、学級目標を決め、班をつくっていく。日々の授業の中で、わが班は、わが学級は一人も取りこぼさない関りができているか? 仲間の困りや「わからん」のつぶやきに気づけているか? 毎日の生活の中で、きつい思いをしている仲間はいないか? 支えが必要な仲間はいないか? みんなで同じ汗を流せているか? 今日一日がどうだったかを、みんなで振り返るのが短学活。班会議。班会議でどんな話ができるかで、絆づくりの質は決まる。**班は学級の命! 班会議は班の命!** 一致団結して、わが学級の夢に向かって、心ひとつ、力ひとつ、絆ひとつ、明るく元気に挑戦していこう。